

垂水活性化プラン

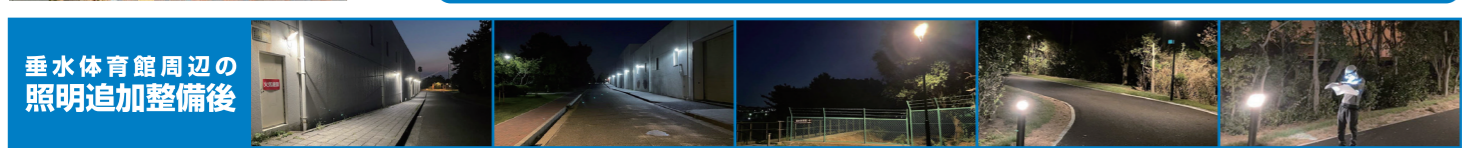
※垂水区役所資料より
※変更の可能性あります
(令和4年9月時点)

～生まれ変わる海辺のまち～ 事業スケジュール

事業	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1 垂水図書館・東側ロータリー (図書館1階部分)	先行工事 (仮囲い・土留)	文化財調査	工事	準備 ● 供用開始
2 垂水駅前東広場	図書館の工事ヤード、仮設原付駐車場設置のため約3年間は利用不可			広場整備工事 ● 利用再開
3 垂水駅東線等			工事	● 供用開始
4 垂水小学校 (建替え)	工事	解体工事 ● 西校舎	文化財調査	工事 ● 南校舎
5 垂水中央東地区 (市街地再開発事業)	● 権利変換計画図認可 除却工事	文化財調査	建設工事	
6 児童館・おやこふらっとひろば (レバンテ垂水2番館4階)	工事	● 供用開始		
7 西側ロータリー・立体原付駐車場	工事	● 供用開始		
8 垂水駅前西広場	工事	● 供用開始		
9 中核的医療施設	旧垂水体育館、垂水養護学校 解体工事	建設工事		● 供用開始
10 垂水体育館	● 供用開始			

新しく垂水体育館が平磯に開設されましたが、電灯が乏しく、あまりにも暗いと感じましたので、**電灯の増設を要望**しました。

その結果 **電灯が増設され明るくなりました** | アクセスも含め、今後もより良い周辺環境が整うよう注視してまいります。



垂水体育館周辺の照明追加整備後

令和3年度神戸市各会計決算 決算特別委員会 令和4年10月13日

意見表明 自由民主党神戸市議員団は、令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案を下記理由及び要望27件を付して、**認定並びに承認**致しました。

理由 令和3年度決算は、社会保障関係費や投資的経費などが増加した一方、所得の増加などに伴う個人市民税の増や、「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを進めたことにより、10億3,700万円の黒字を確保したこと、また11年連続で実質収支の黒字を確保したことは評価致します。

今後は、超高齢・人口減少社会の進展に伴う義務的経費の更なる増加で厳しい市政運営が求められるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響にも注視を続ける必要があります。

しかしながらこのような状況下においても、まちの魅力を高め、若者に選ばれるまち神戸にしていかなければなりません。先日、関西3空港懇談会において同意された神戸空港国際化については長らく我々市民の悲願であったため、国際化および増便のためのハード・ソフト両面における力強い取り組みを進めなければなりません。また、市内事業者およびスタートアップ支援による雇用の創出、回復しつつあるインバウンドを含めた観光施策、切れ目のない子育て施策や移住・定住施策などの人口減少対策にも取り組む必要があります。

以上の施策等が力強く、積極的に推し進められることを期待して、決算を認定致します。

決算特別委員会で下記の要望をいたしました。

- 神戸空港については、国際化および増便のためのハード・ソフト両面における力強い取り組みを進めること。
- 子どもの健全やかな心身の成長のため、学校給食での黙食については早期にとりやめ、会話を含むコミュニケーションを取り戻すこと。
- 新しいスポーツに対して常に関心を持ち、競技関係者との関係作りを積極的に進めることにより、神戸ならではの先駆的な新しいスポーツ文化を取り入れること。
- 特定空家空地の解消のため、勧告が広く効果的に活用されるよう、措置の判定基準の見直しのための条例改正等を早期に進めること。
- 地下鉄各駅のトイレのリニューアルについて、早期に実現すること。
- 市内商店街の厳しい状況を正確に把握し、道路占有料の思い切った減免により、商店街の支援を行うこと。
- 試験運行中の地域コミュニティ交通の本格運行へ向けた積極的支援を行うこと、また、現在運航中の地域コミュニティ交通への一層の支援を行うこと。
- 救急逼迫や今後の救急需要増加に対応するため、民間病院所有の救急車の弾力的運用も含めた民間救急のあり方を検討し、新たな制度構築を行うこと。

その他合計27件

神戸市政報告

編集・発行:
自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL.078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



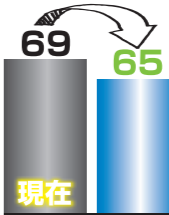
決算特別委員会を質問する神戸市議員 しろく高太郎

教育こども委員会 委員 神戸市議員 垂水区 しろくに高太郎

特集 令和3年度決算特別委員会で健康局、危機管理室・消防局に対して局別審査を行いました。ウラ面に質疑・答弁要旨を掲載いたしました。ご一読ください。

神戸市会議員の定数を69から65に削減

更に、来春の市会議員選挙以後の次期4年間に65から60への5削減に向けて、私達自由民主党神戸市議員団が中心となって議会内の合意形成をはかる決意です。最大の議会改革を行ってまいります。**垂水区は10から9へ1減!!**



議員の定数 ▲令和4年6月13日本会議にて議決

舞多間西に信号機設置



舞多間中公園前ようやく本年12月頃までに信号機が設置される予定です。子供さんの痛ましい交通事故がありました。そのずっと前から交通事故を予見する住民の方々からの強い要望もあり、地元衆議院議員と県議員にも事情を説明し、関係方面に強力に働きかけていただきました。また、県警本部と垂水署そして神戸市共々関係者が現場に集い、私も何度も現場視察致しました。交通事故ゼロを願ひ、垂水の安全・安心なまちづくりに今後も尽力してまいります。

民間再開発の状況

「垂水廉売市場」のところは、どうなるのか」とよく聞かれます。今年度中に解体工事と埋蔵文化財調査を行い、約3年をかけ建設し、令和8年3月頃の完成を目指しています。

私はこれまで長年推進を訴え続けて参りましたが、地元そして組合関係者の皆様の並々なご尽力の結果、ようやく完成に向けて動き始めています。

住宅棟と店舗棟がそれぞれ別棟で、住宅棟を取り囲む形で1階に店舗が並び、地上32階、住宅・店舗で計310戸が建設される予定です。

文化の振興

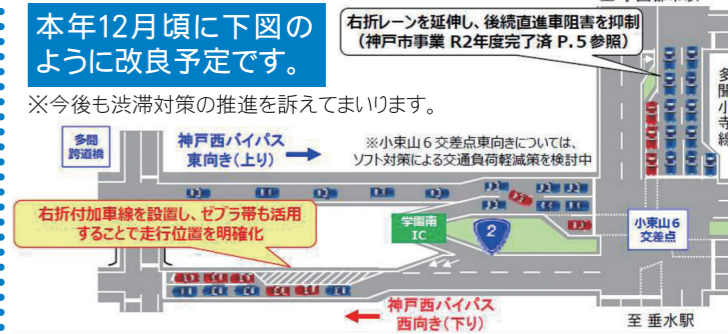
令和4年8月22日にレバンテホールで、神戸市民文化振興財団の主催で「こどもコンサート」が開催されました。これは私が以前、「他区のホールでは、神戸市室内管弦楽団や神戸市混声合唱団の演奏会が開催されているのに、なぜレバンテではないのか」と、財団に依頼致しました。外郭団体の縦割りの弊害がありましたが、結果的にコロナ禍で1年遅れの実施となりました。今後も演奏会等の実施を続けていただくよう働き掛けてまいります。

垂水体育館は新しくなりましたが、垂水レバンテホールは、文化の発表・発信の場として極めて重要な施設です。



舞多間の2号線バイパス(側道)改良

令和3年6月25日の本会議で、「舞多間の国道2号バイパスは改善の余地がある」と一般質問し、副市長より「多間跨道橋交差点に向かう西行き右折レーンの設置など車線運用の見直しを予定」との答弁がありました。



教育こども委員会

9月16日
教育委員会とこども家庭局に対し、「スマホ依存等を心配する立場」で質疑。また教育委員会に、「現在の部活動を続けてもらいたい立場で、地域移行」を質疑。今後この2点について、常任委員会等で質疑をはじめ様々な要望をしてまいります。



市政報告



健康局 9月28日

■質問：しらくに高太郎
会派要望も行ったコロナ陽性妊婦の出産受入体制と全数把握見直しの現在の状況について伺う。

■答弁：保健所長
最大2日かかっていた入院調整が約1時間で調整出来た。陣痛が始まって緊急入院が必要となる陽性妊婦が安心して出産出来る体制となっている。9月28日は感染者数の33%の発生届となった。対象外の方には、陽性者登録センターの案内をし、一人ひとりの状況に応じてフォローしていきたい。

■質問：しらくに高太郎
保健師の対応について、名前を名乗らないというのは、患者目線になっていない。

■答弁：担当局長
調査したところ、保健センターの職員の中に不適切な対応をしていたことが分かった。お電話いただいた方に申し訳ないと思っている。名前を名乗ることの意義を改めて徹底したところである。

■質問：しらくに高太郎
食を通じた健康づくりが必要と考えるが、どの年代にどのように食べ方を変えていくのか、具体的なアプローチが必要でないか。また兵庫県栄養士会とも連携し、レシピ等を発信してはどうか。

■答弁：健康局長
食育セミナーなどを行っているが、健康に気を付けない方は、かなりプッシュをしないとなかなか気を付けないので、プッシュ型の支援が必要と考え、若年層には子供を通じた啓発物の配布や中高年には健診時に案内を同封したり、また集いの場に出て栄養相談をこちらから持ち掛けていくような取り組みを行ってきたい。
ある先生から食事は非常に大事で薬を飲んだのと同じであり、認知症でも50%治せるというエビデンスがアメリカにあるという話を聞いて驚いた。神戸市では、子育て応援

レシピの動画と毎年9月の食生活改善普及運動でレシピ本を配っているだけである。今後、栄養士会さんと連携して紙媒体での発信に努めたい。

■質問：しらくに高太郎
健康寿命延伸のために、市内でのリハビリテーション医療の強化を図るべきである。またしあわせの村にある神戸リハビリテーション病院の目指す姿について伺いたい。

■答弁：健康局長
現在、急性期・回復期・維持期・生活期のリハビリが途切れているので、一貫した体制を作るため、キュア神戸という協議会を立ち上げ、今年度中に何とか形を作りたい。神戸リハビリテーション病院は開設して33年経つが、当時は県の病院と民間が一つか二つくらいだったので、公的にやらざるを得ない状況があった。現在は市内に18病院あり民間で十分対応できる状況になっている。

一方で、診療報酬が低いリハビリもあり民間では出来ない、取り組むのであれば公的にやらなければならないことも踏まえて、廃止するのか大規模改修か建て替えかなどを慎重に検討したい。

■質問：しらくに高太郎
私にも相談があったが、先日ハチの駆除に高額請求されたという記事も掲載された。ハチ相談ダイヤルに電話を掛けると兵庫県ペストコントロール協会につながるが、その価格が高いかどうか判断出来ない。おおよその金額を掲載すべきではないか。

■答弁：担当部長
公正取引委員会に確認すると、民間事業について行政が目安料金を示すことは適切でない指摘を受けたので、市として紹介するのは難しい。そこで、協会が目安料金はお示し出来ることをホームページで周知させていただき、あわせて契約しない、複数見積もりを取り作業内容を理解して契約する、など消費者生活センターとも連携して丁寧に説明させていただきたい。

危機管理室・消防局 10月3日

■質問：しらくに高太郎
犯罪被害者の方々の声を反映したこれまでの取り組みについて伺いたい。

■答弁：危機管理監
条例制定後、一時金の支給、家事援助や一時保育、また日常生活支援を市の責務に加え新たに教育関係費の支援策も追加し、区役所窓口でのワンストップ対応も盛り込んだ。令和元年には、全国初の住居復旧費と犯罪対策支援に裁判手続きの旅費の支援も追加した。ひょうご被害者支援センターと県警とも連携を密にし被害者に寄り添う支援を継続して参りたい。

■質問：しらくに高太郎
犯罪被害者の方々の声を聞く中で、現在の支援策が不十分な点などの課題はないのか。

■答弁：危機管理室長
例えばある被害者のご遺族から事件後にマスコミ取材などの影響で、被害者の兄弟のケアに苦勞され、子供の学習環境維持のために家庭教師代やタクシー送迎費用など教育関係費に助成メニューを盛り込んだ。

ひょうご被害者支援センターと連携し、関西在住のご遺族が中心となり結成されたつなぐ会の会合にも参加し意見交換を行っている。

■質問：しらくに高太郎
救急需要対策として今後どのような施策を実施していくのか。



■答弁：消防局長
冬場に多い心疾患や脳卒中などを含めて予防救急の広報を徹底したり、#7119の活用や救急隊の臨時部隊の増隊など総合的に市内で行っていききたい。

■質問：しらくに高太郎
救急需要ひっ迫時において、特に軽症者の搬送について民間救急の活用を消防局として検討すべきであると考えが。

■答弁：救急担当部長
緊急性のある患者対応に関しては、法令上消防の責務とされているので民間事業者に対応をお願いするのは非常に難しいと考えている。しかし、民間救急事業者を活用することが出来れば、救急需要対策につながる可能性がある。今後先事例など調査し民間事業者の活用について研究を進めたい。

■質問：しらくに高太郎
高齢者施設への救急対応は昨年度5047件あり、うち軽症者が2割であった。この数字は不搬送や最近増えているサービス付き高齢者向け住宅は入っていない。この辺りの数字も調べていただきたい。

施設向けに消防局が作成したガイドラインにも、「本当に必要とされる方のところへ一刻も早く駆けつけるのは本来の消防救急業務である」と明記されている。施設側にしても、軽症であっても何かあったらと家族への思いもあるし、病院に診てもらうには救急頼みだという思いもある。また医療機関側から救急車で来てほしいと言われる場合もある。救急隊側も緊急性の低い出勤要請に大変な状況なのに、と思う事もあったと新聞記事にもあった。

そこで、緊急走行が出来るかどうか非常に大事で、病院救急車を利用して何とか長年検討されてきた団体がある。もし体制が整えるというのであれば、一度実証実践なども考えてみてはどうか。

■答弁：救急担当部長
病院救急車のことも現状把握させていただいて、今後どのような形で救急車の数を抑えることが出来るのか研究したいと考えている。

■質問：しらくに高太郎
さらに、民間救急の活用が進めば救命救急士OBを有効に活用できると考えるが。

■答弁：救急担当部長
民間救急事業者や病院事業などで業務に就くことは、初期観察や応急処置を的確に行え、患者やその家族への接遇容態急変時の対応などにも冷静に出来るといったこれまでの経験を生かすことが出来るので、大変有意義であると考えている。

■質問：しらくに高太郎
KobeLive119のこれまでの活用状況と今後の活用の拡大を伺いたい。

■答弁：消防局長
KobeLive119は全国に先駆け、令和元年11月9日から運用を始めた。山岳救助などによく活用されているが、最初は使い方が難しいということで、3割くらいしかうまく使えなかったのが、令和3年には75%となり普及が広がってきたのかなと思っている。これを使うとピンポイントで通報者の場所が特定することが可能となった。また応急手当が分からない方に、こちらから動画で口頭指導、CPRをしていたくことにもつながってきている。引き続き、事業者とも研究を重ね拡大の努力をしたい。



神戸市会本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継を行っています。ぜひご覧ください。

神戸市会 Q検索



より良い神戸・垂水へ。目標にダッシュ!! しらくに高太郎

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。※マスク着用。発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。